

情 報 公 開 文 書

研究の名称	肺切除術におけるデュアルポータル・ロボット支援胸腔鏡手術のコスト削減効果と初期治療成績
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 （所属・職名および氏名）	呼吸器外科 教授 土谷 智史
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 当科では肺腫瘍手術に対してロボット支援下胸腔鏡手術（RATS）を積極的に導入しています。従来法では5箇所の創部での手術をしていましたが、近年創部の数を減らしても低侵襲かつ安全に手術ができる報告がされています。2025年8月より、当科では2箇所の創部で行うデュアルポータル RATS（DRATS）を導入しました。 本研究では従来式 RATS と比較して DRATS 手術の安全性及びコスト削減効果を調査します。すでに得られている診療記録の情報にて行う後ろ向き研究です。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2026 年 12 月 31 日 【研究対象者】 2024 年 1 月から 2025 年 12 月までに富山大学附属病院で肺腫瘍に対するロボット支援下手術を受けた方が対象です。 【研究資金、利益相反の状況】 この研究は講座研究費によって賄われます。 本研究における申告すべき利益相反はありません。 【個人情報の取扱い】 本研究で得られた患者さんの個人情報を厳重に取り扱います。 診療記録情報を取り出す際は、個人を特定できないように研究用 ID で管理をします。研究用 ID と元の診療録 ID の対照表は、呼吸器外科のパスワード管理された PC にて保管し、限られた研究者のみがアクセスできる状態とします。本研究のデータは研究公表後 10 年間保管します。保管期間終了後は電子データを完全に消去して復元できない形で廃棄します。 【研究結果の公表の方法】 国内外の学会や学術雑誌にて発表予定です。 【試料・情報の他機関への提供有無】 無 【外国にある者への提供について】 該当なし

②利用又は提供する試料・情報の項目	研究に用いる情報は以下です。 患者背景 年齢，性別，BMI，喫煙歴，併存疾患の有無 臨床検査 呼吸機能検査所見（FVC，1 秒量，1 秒率），CT 所見，FDG-PET 所見 治療因子 手術日，手術部位，術式，術前診断，病理診断，Stage（病期），腫瘍サイズ，手術時間，出血量，コンソール時間，自動縫合機本数，術中使用物品 術後経過 術後在院日数，ドレーン抜去までの期間，術後合併症（Clavien-Dindo 分類 Grade，手術部位感染，非感染性合併症），転帰
③利用又は提供を開始する予定日	【利用又は提供を開始する予定日】 2026 年 07 月 01 日
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	診療録から診療情報を取得する
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院 呼吸器外科 教授 土谷 智史
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 病院長 山本 善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究機関への提供も含む。）に対して，拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は，以下の窓口へご連絡ください。 電話番号：076-434-7371 E-mail：yake@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：呼吸器外科 明元 佑司